

2025年度 第5回グループホームシャルルまきの 運営推進会議報告書

開催日時 2026年2月17日(火) 10:00~11:00
 開催場所 ラコントレB1階 会議室
 参加者 入所者家族 市役所職員 事業所職員
 議 題 1. 活動報告
 ・2025年12月1日~2026年1月31日
 2. その他(質疑応答)

1. 活動報告

◎ グループホームシャルルまきの入居状況 2026年1月31日現在

南ユニット 8名(平均介護度)2.6

男性: 0名 女性: 8名

入居者要介護度	
要支援2	0名
要介護1	1名
要介護2	2名
要介護3	4名
要介護4	1名
要介護5	0名

北ユニット 9名(平均介護度)1.8

男性: 1名 女性: 8名

入居者要介護度	
要支援2	0名
要介護1	2名
要介護2	6名
要介護3	1名
要介護4	0名
要介護5	0名

入居者認知症生活自立度	
自立	0名
I	0名
IIa	0名
IIb	3名
IIIa	2名
IIIb	2名
IV	1名
M	0名

入居者認知症生活自立度	
自立	0名
I	0名
IIa	0名
IIb	4名
IIIa	4名
IIIb	0名
IV	1名
M	0名

◎ 市町村別入居状況

五條市	17名	橋本市	0名
-----	-----	-----	----

◎ 活動状況

12月 RUN伴

クリスマス会 五万人の森散歩

餅つき 正月準備 干し柿収穫

1月 新年の挨拶 坊主めぐり かるた大会
初詣 書初め

◎毎月 散髪・おとなの学校メソッド、移動販売(とくし丸)、日曜喫茶「cafetta」

◎ 職員研修

【法人研修】

12月 法人研修「感染症予防」

講師:ルポゼまきの 感染予防委員会 看護師 吉田 M

1月 法人研修「看取り介護」

講師:まきの苑 看取り委員会 委員長 永井ケアマネジャー
松浦看護師

◎事故報告 (2025年12月1日～2026年1月31日)

事故 5件

事故内容	件数	状況
誤薬	2件	<p>ケース 1</p> <p>夕食後より落ち着きがなく何度も玄関先まで行き危険な状況であった。休まれる様子がなかった為、臨時薬の睡眠導入剤を服用して頂いた。しかし、同様の種類の薬を1時間程度前に服用していた為、服用の時間間隔が短すぎた。看護師からの指示出し記録の確認不足が原因である。</p> <p><対策></p> <p>臨時薬を服用する際は、記録内容を確認してから服用して頂く。</p> <p>ケース 2</p> <p>夜間の掃除中、フロアに薬が落ちていた。対応職員に確認すると、夕食後の薬を口腔内まで介助し服薬してもらったが、前の席のご利用者より「落ちましたよ」と言われた。周辺・衣類なども探したが見つからなかった為、見間違いと判断してしまった。</p> <p><対策></p> <p>マニュアルに沿い服薬介助を行う。</p>
打撲	1件	ケース 1

<p>転倒</p>	<p>2 件</p>	<p>生活内動作の中で、下肢をぶつけてしまい皮下出血が出来てしまった。認知機能面の低下により、歩行器等をうまく操作して使用できにくくなってきていたが、危険な動作等の把握が行えていなかった事が原因である。</p> <p><対策> 動作時、危険な動作がないか検証する。危険な動作が有れば情報共有する。</p> <p>ケース 1 朝食後の口腔ケアの時間帯、他の方の口腔ケア実施中に自身で自席から立ち上がり移動しようとした。しかし、立位動作・移動動作共に不安定な方であり、きちんと椅子から立ち上がりが出来ていない状況で移動したため椅子と一緒に横向きに転倒する。</p> <p>見守りの体勢が整っていなかった事が原因である。</p> <p><対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロアから離れる際は、他の職員へ見守りの依頼を行う。 ・口腔ケアの後は、排泄誘導もセットで行い落ち着いて待つ頂ける環境を整える。 ・何か集中できるものを提供し、退屈にならない環境を整える。 <p>ケース 2 夜間、他のご利用者の排泄介助中、ゴンという音とかすかな声が聞こえたため訪室し確認する。 トイレ前にて膝をついている状態を発見する。 反対フロアの夜勤者へ確認すると、コールが鳴っていたがコールが重なり作動したため PHS を切ってしまったとの事。</p> <p>パーキンソン症状が進行しており、すべての動作が不安定な状況となっていたが、今までと同じ対応を継続していたことと、夜勤者間の連携不足が原因である。</p> <p><対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の排泄はポータブルトイレへ変更する。 ・反対フロアのコールを確認し切った場合は、必ずフロア対応職員へ声をかけるか、反対フロアの対応に入る。
-----------	------------	---

◎ヒヤリハット 8件

転倒・転落の可能性	3件	・一人で歩こうとされていた ・夜間他の人のコール対応中に一人でフロアまで出て来られた ・トイレで立位をとっていた
離設の可能性	0件	
誤薬の可能性	0件	
誤嚥の可能性	2件	・水分にトロミの必要な方が、お茶づけにして食べようとしていた ・うがいの際、むせていた
異食の可能性	0件	
創傷の可能性	0件	
紛失の可能性	2件	・義歯をゴミ箱にいれてた ・義歯を紙で包んでいた
体調不良の可能性	1件	在宅酸素のチューブがぬけた
皮下出血の可能性	0件	
その他	0件	

◎苦情 0件

◎身体拘束 0件

2. その他（意見交換等）

・（事業所職員）

ヒヤリハットをできるだけ多く取り上げるよう取り組んでいます。

先日、腕時計が洗濯機の中より出て来ることがありました。自己管理中の方であり、ポケットの中も確認済みで洗濯を行ったが事故に繋がってしまいました。

補聴器や指輪、時計などの高価な物について、紛失や故障にならない様予防に努めていますが、起こってしまう事があります。

・（家族代表）

餅花など、昔は自宅で作っていましたが今はしなくなりました。ここでその様な事をさせてもらえることがうれしいと感じています。

色々な事を省いていく時代となってきているが、ここでその様な昔行っていた事をさせてもらえることが凄いと感じています。

・（家族代表）

20年～30年後、私たちは施設に入れないとされている。だから、自宅でいつまでも過ごせる様、元気で過ごしていくことが大切だと感じています。

→（市役所職員）

「出来るだけ地域での生活」を掲げています。元気でいて欲しいと思っています。

・(家族代表)

人員は不足していますか？

→人員基準には達していますが、以前と比較すると全体的には減ってきています。

日本人の退職、新人採用は外国人が増えています。

育った環境が違う分、日本の習慣から育成していく必要があります。

記録などもひとりでは困難であり、日本人のフォローなども必要な状況です。

今後は、生成 AI なども活用していく事も大切だと考えています。

・(家族代表)

五條市内の出生率は下がり、私の地域では、出生が 2~3 人。20~30 代はほとんどいないのが現状です。同じ人が、歳をとっていくだけで、役などはずっと同じ人が繰り返し行っている状況です。

元気な内に、運動していける場所を作って欲しいと思っています。

→田園にあった「利休」がその役割を担っていましたが、他の事業所と統合したため現在はありません。

国道沿いにある「善（通所サービス）」も、3 月いっぱいまで統合します。

・(家族代表)

最近では、物は宅配で届く時代になった為困らないが、ごみを出すことが大変と感じる様になってきました。ゴミ場まで自宅から遠い事もあり、体力的にきつく感じてしまいます。

その様な、ごみを集めるサービスなどがあれば良いなと感じます。

→(市役所職員)

市では、ふれあい収集（玄関先まで取りに来てくれ、費用は 0 円）というサービスを行っています。しかし、65 歳以上である・一人暮らしであるなどの条件を満たした方が対象となります。出来ない理由や、条件なども申請の際必要です。

あと、シルバー人材センターに依頼する事となりますが、その際は有料（1100 円程度）となります。

以上